



日本スーパーマーケット協会

平成27年1月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	54,883,308 万円	100.0%	103.7% (103.2%)	53,178,421 万円	101.9% (101.2%)
食 料 品	46,052,011 万円	83.9% (83.4%)	105.0% (104.0%)	44,490,989 万円	102.8% (101.6%)
農 産	6,895,399 万円	12.6% (11.5%)	103.4% (99.5%)	6,659,358 万円	101.3% (97.2%)
水 産	4,820,994 万円	8.8% (9.3%)	106.4% (105.9%)	4,656,306 万円	104.0% (103.3%)
畜 産	5,953,232 万円	10.8% (10.7%)	109.3% (110.0%)	5,727,173 万円	106.7% (107.3%)
惣 菜	5,183,850 万円	9.4% (9.1%)	108.0% (106.8%)	4,977,629 万円	105.3% (103.8%)
日配食品	10,038,469 万円	18.3% (17.8%)	104.5% (103.4%)	9,709,761 万円	102.6% (101.3%)
加工食品	13,160,068 万円	24.0% (25.0%)	102.6% (102.5%)	12,760,763 万円	100.8% (100.4%)
生活関連	3,601,714 万円	6.6% (6.9%)	99.8% (99.7%)	3,530,399 万円	99.4% (99.1%)
衣 料 品	1,812,792 万円	3.3% (3.4%)	92.5% (96.9%)	1,796,359 万円	92.4% (96.9%)
そ の 他	3,416,791 万円	6.2% (6.3%)	98.2% (99.7%)	3,360,674 万円	98.0% (99.6%)

② 数 値

全店総売上高	54,883,308 万円	店 舗 数	4,733 店舗
総売場面積	9,289,550.1 m ²	総従業員数	257,648 人

店舗平均月商	11,595.9 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,894 円 (101.6%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円 (7.0 万円)	平均店舗面積	1,962.7 m ²
月間坪売上(前月)	19.5 万円 (23.2 万円)	パート比率(前月)	78.3% (78.1%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・新年が明けた上旬は強い寒気が南下し全国的に気温が低くなり日本海側では大雪となったものの、中旬以降は冬型の気圧配置は長続きせず暖かい空気が流れこんだため、月平均気温は北日本から西日本にかけて高かった。また低気圧の影響で降水量は西日本(特に太平洋側)から東日本太平洋側では多かった。
- ・昨年末からの高病原性鳥インフルエンザについては特段の影響は無かったものの、アメリカ西海岸の港湾労使契約問題の影響が出始めており各社対応に苦慮。
- ・昨年と比べて土曜日が1日多く曜日巡りは良好。

《 商品動向 》

○ 農産

- ・レタス、トマトなどのサラダ野菜が好調。ほうれん草も良好。
- ・白菜、キャベツ、大根などの大型野菜が不調。
- ・果物では主力のいちご(特にあまおうなどの高単価でも価値ある商品)、リンゴは好調。一方でみかんの動きが悪い。
- ・アメリカ西海岸の港湾労使契約問題から、オレンジ、グレープフルーツなどに影響が出始めている。

○ 水産

- ・刺身関連が(上質な高価格帯も含め)良好。
- ・季節商品のたらについても、鍋やホイル焼きの提案などの効果もあり好調。
- ・寒ブリも切り身、しゃぶしゃぶ、あら煮などで提案。

○ 畜産

- ・国産の牛サーロインなどワンランク上の牛肉の伸びが順調。
- ・しゃぶしゃぶ、焼き肉なども堅調。
- ・アメリカ西海岸の港湾労使契約問題から、牛肉、豚肉に納品遅れ、通関遅延などの影響が出始めており事態の長期化も視野に対応策検討。

○ 惣菜

- ・お正月、成人の日もあり握り寿司が好調。
- ・カキフライ、焼き鳥、から揚げなども堅調に推移し売上伸長。

○ 日配・加工食品

- ・インフルエンザの関係で乳酸菌飲料、機能性ヨーグルトなどが好調。
- ・昨年の反動もあり冷凍食品の売上も増加。
- ・テレビ放映効果でプレミアムオイル（ココナッツオイル、エゴマ油など）が大幅伸長、リカー部門では洋酒（ウイスキー）が引き続き堅調。

○ 「年始の営業」について

- ・お正月期間が4日までだったこともあり、オードブル、寿司盛り合わせ、焼き肉、すき焼きなど高価格帯の動きが順調。
- ・元旦営業、2日からの営業（元旦は休み）は半々、一部は3日からの営業。

○ 「その他」について

- ・受験シーズン本番ということから、とんかつ、かつカレーなどに注力。また夜食の需要として、鍋焼きうどん、中華まんなども提案。
- ・インフルエンザ関連でマスクの動きも好調。
- ・七草、鏡開きなども食べ方の提案や販売促進により一部で好調。

以 上